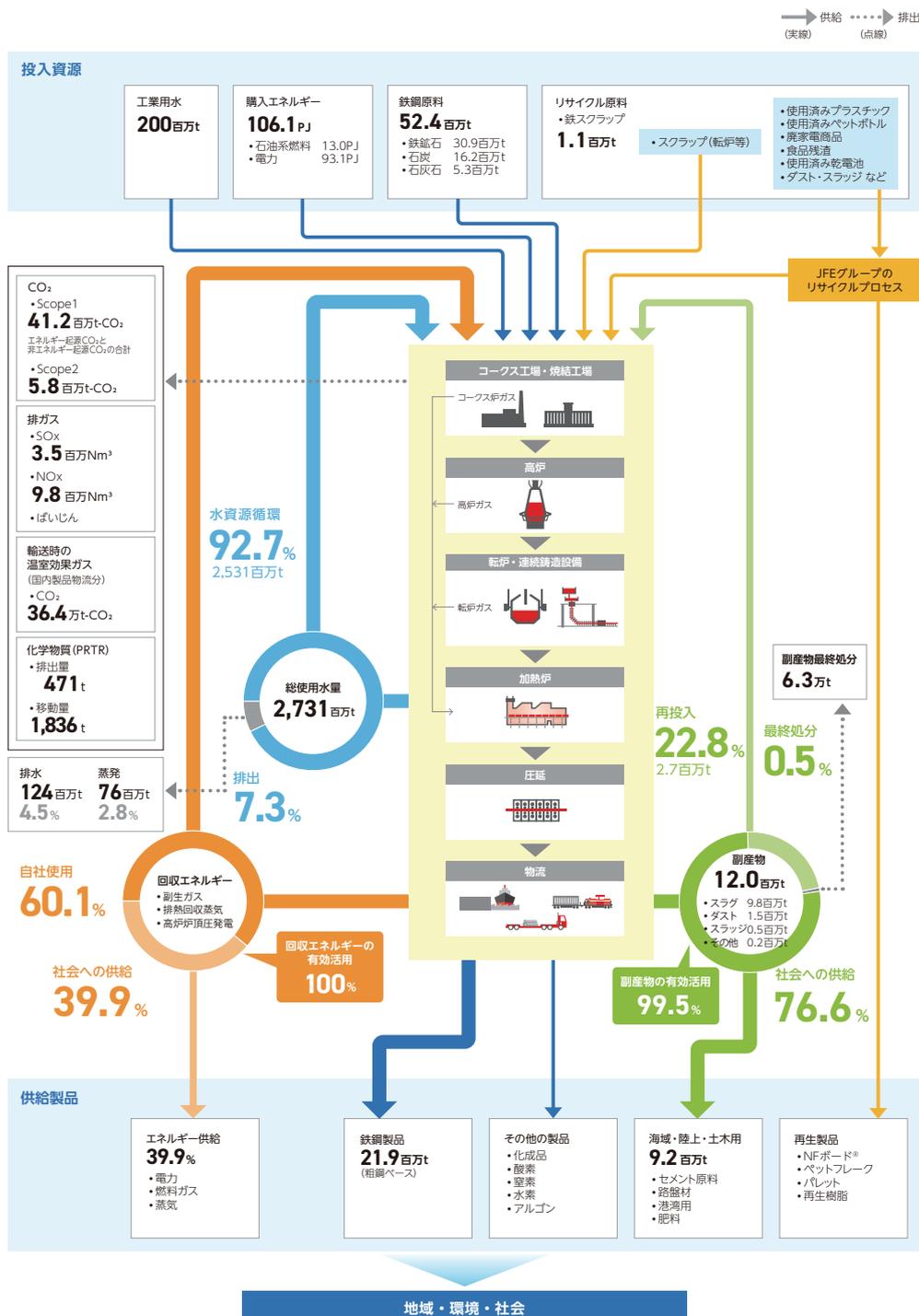


環境データ

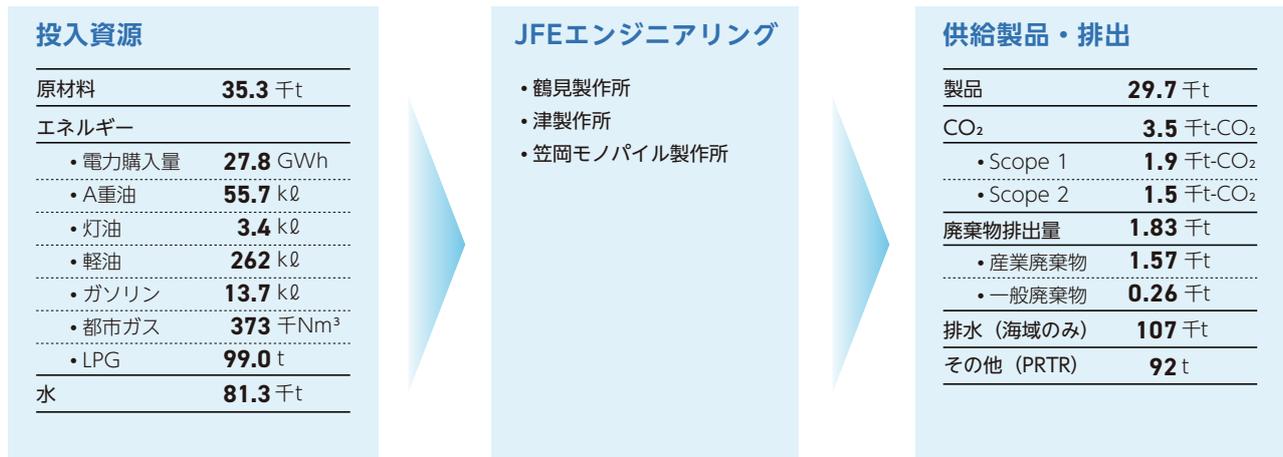
マテリアルフロー

JFEスチールは、製鉄プロセスにおける環境負荷の低減と資源の有効活用を進めています。生産工程で使用する水は92.7%を循環利用しており、鉄鋼スラグなどの副産物は99.5%を資源化しています。生産工程で生成する副生ガスは鋼材加熱用や自家発電用の燃料としているほか、社会に供給するエネルギーとして100%有効に活用しています。

JFEスチールのマテリアルフロー(単体)



JFEエンジニアリングのマテリアルフロー(本社・製作所)



対象範囲の表記：

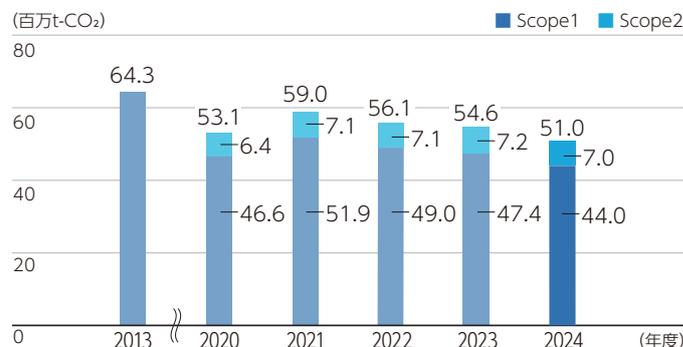
JFEグループ(全社)、JFEスチールグループ(ST Gr)、JFEスチール(ST)、JFEエンジニアリンググループ(EN Gr)、JFEエンジニアリング(EN)、JFE商事グループ(SH Gr)、JFE商事(SH)

環境関連指標

分野	事業会社	目標	2024年度の実績・関連ページ
温室効果ガス・エネルギー	ST	• 2024年度末のCO ₂ 排出量を2013年度比で18%以上削減	P.257-258
	EN	• 自社工場、オフィスにおけるCO ₂ 排出量の削減 2024年度：2013年度比40%削減 • CO ₂ 削減貢献量(2024年度)：1,200万t/年	P.257-258,260
	SH	• 再生可能エネルギー由来の電力調達によるCO ₂ 排出量削減 2022年度国内CO ₂ 排出量：2019年度比10%削減(2021年度から2024年度までの4年間で毎年2019年度比5%削減)	P.257-258
化学物質	ST	• VOC排出量：2000年比30%減(1,078t以下) • ベンゼン排出量：1999年比80%減(46t以下) • ジクロロメタン排出量：1999年比40%減(46t以下)	P.264
資源活用	ST	副産物の再資源化率：99%以上	P.266
	EN	建設現場でのリサイクル率 • がれきリサイクル率：99.5%以上 • 汚泥リサイクル率：95.0%以上 • 産廃リサイクル率：85.0%以上 オフィス資源物再生資源化率 • 横浜本社：98.0%以上	P.267-268
	SH	鉄スクラップのグローバルな資源循環 • 2020年度取り扱い数量以上 (2024年度目標：2020年度比5%増)	P.266
水使用	ST	水資源の高効率利用の維持 循環利用率：90%以上	P.269

温室効果ガス・エネルギー

JFEグループのCO₂排出量(Scope1,2)



項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
Scope 1・2合計 ^{*1*2}	全社	百万t-CO ₂	53.1	59.0	56.1	54.6	51.0	
	ST Gr	百万t-CO ₂	52.6	58.6	55.7	54.1	50.8	
	ST	百万t-CO ₂	49.1	54.7	52.3	50.0	47.0	
	ST子会社	百万t-CO ₂	3.5	3.9	3.4	4.1	3.8	
	EN Gr	百万t-CO ₂	0.484	0.387	0.422	0.482	0.234	
	EN	百万t-CO ₂	0.0141	0.0103	0.0081	0.0081	0.0058	
	EN子会社	百万t-CO ₂	0.470	0.377	0.414	0.474	0.229	
	SH Gr	百万t-CO ₂	0.0296	0.0319	0.0316	0.0311	0.0298	
	SH	百万t-CO ₂	0.0004	0.0004	0.0004	0.0004	0.0004	
	SH子会社	百万t-CO ₂	0.0292	0.0315	0.0311	0.0307	0.0294	
	Scope 1	全社	百万t-CO ₂	46.6	51.9	49.0	47.4	44.0
		ST Gr	百万t-CO ₂	46.2	51.5	48.6	47.0	43.8
ST		百万t-CO ₂	43.8	48.8	46.4	44.1	41.2	
ST子会社		百万t-CO ₂	2.4	2.7	2.2	2.9	2.6	
EN Gr		百万t-CO ₂	0.442	0.345	0.395	0.459	0.215	
EN		百万t-CO ₂	0.0024	0.0024	0.0029	0.0038	0.0033	
EN子会社		百万t-CO ₂	0.439	0.343	0.393	0.455	0.212	

項目		対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
Scope 2 ^{*3}		全社	百万t-CO ₂	6.4	7.1	7.1	7.2	7.0
		ST Gr	百万t-CO ₂	6.4	7.0	7.0	7.1	7.0
		ST	百万t-CO ₂	5.3	5.8	5.9	5.9	5.8
		ST子会社	百万t-CO ₂	1.1	1.2	1.1	1.2	1.2
		EN Gr	百万t-CO ₂	0.0424	0.0418	0.0263	0.0232	0.0189
		EN	百万t-CO ₂	0.0116	0.0079	0.0052	0.0043	0.0025
		EN子会社	百万t-CO ₂	0.0308	0.0339	0.0211	0.0189	0.0164
		SH Gr	百万t-CO ₂	0.0296	0.0319	0.0316	0.0311	0.0298
		SH	百万t-CO ₂	0.0004	0.0004	0.0004	0.0004	0.0004
		SH子会社	百万t-CO ₂	0.0292	0.0315	0.0311	0.0307	0.0294
CO ₂ 原単位 (分子: Scope 1・2合計、分母: 売上高/売上収益)		全社	t-CO ₂ /億円	1,644	1,352	1,065	1,055	1,050
エネルギー起源CO ₂ ^{*1*2}	CO ₂ 排出量 (Scope 1・2合計)	ST Gr	百万t-CO ₂	50.2	55.8	53.1	51.6	48.4
		ST	百万t-CO ₂	47.3	52.6	50.4	48.2	45.2
		ST子会社	百万t-CO ₂	2.9	3.2	2.7	3.4	3.1
		EN Gr	百万t-CO ₂	0.0625	0.0614	0.0452	0.0363	0.0288
	SH Gr	百万t-CO ₂	0.0296	0.0319	0.0316	0.0311	0.0298	
	Scope 1	ST	百万t-CO ₂	41.9	46.8	44.5	42.3	39.5
	CO ₂ 原単位 (分母: 粗鋼生産量)	ST	t-CO ₂ /t-steel	2.08	2.03	2.09	2.06	2.06
非エネルギー起源CO ₂ 排出量		ST Gr ^{*4}	百万t-CO ₂	2.40	2.74	2.59	2.48	2.40
		ST	百万t-CO ₂	1.82	2.05	1.93	1.79	1.72
		ST子会社	百万t-CO ₂	0.58	0.69	0.66	0.69	0.68
		EN子会社 ^{*5}	百万t-CO ₂	0.42	0.33	0.38	0.45	0.21 ^{*6}

※1 集計範囲：総計77社

- JFEスチール、国内外主要子会社26社
- JFEエンジニアリング、国内外主要子会社13社
- JFE商事、国内外主要子会社35社

※2 2021年度より、JFEスチール、JFEエンジニアリング、JFE商事の主要子会社の集計範囲を拡充

※3 2024年度の購入電力のCO₂排出係数：

- JFEスチール：日本鉄鋼連盟のカーボンニュートラル行動計画における2023年度購入電力のCO₂排出係数
(上記の適用により2023年度数値を更新)
- JFEスチールの国内連結子会社、JFEエンジニアリンググループ、JFE商事グループ：各年度の電気事業者別調整後排出係数
- 海外：IEAの最新の電力使用に伴うCO₂排出係数

※4 集計範囲：JFEスチール、国内主要子会社4社

※5 集計範囲：JFEエンジニアリングの国内主要子会社であるJ&T環境

※6 2024年度より、非エネルギー起源CO₂の扱いを見直し

GX-ETS基準GHG排出量

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
GHG排出量	ST	百万t-CO ₂ e	—	—	—	—	47.8

JFEグループのCO₂排出量(Scope3)

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
Scope3 ^{※1※2}	全社	千t-CO ₂ e	14,369	20,778	23,184	22,701	21,894
カテゴリー1 購入した製品・ サービス	全社	千t-CO ₂ e	11,026	17,244	19,750	19,118	18,537
カテゴリー2 資本財	全社	千t-CO ₂ e	1,226	1,221	1,166	1,239	1,127
カテゴリー3 スコープ1、2に含ま れない燃料及びエネ ルギー関連活動	全社	千t-CO ₂ e	671	717	736	760	723
カテゴリー4 輸送、配送(上流)	全社	千t-CO ₂ e	419	454	450	440	434
カテゴリー5 事業から出る廃棄物	全社	千t-CO ₂ e	45	58	62	133	147
カテゴリー6 出張	全社	千t-CO ₂ e	4	5	4	5	5
カテゴリー7 雇用者の通勤	全社	千t-CO ₂ e	51	59	49	14	14
カテゴリー15 投資	全社	千t-CO ₂ e	927	1,022	967	993	906

※1 集計範囲：

〈カテゴリー1,2,3,4,5〉

JFEスチール、JFEスチール国内主要子会社21社、JFEエンジニアリング、JFEエンジニアリング国内主要子会社1社、JFE商事

〈カテゴリー6,7〉

JFEスチール、JFEスチール国内主要子会社21社、JFEエンジニアリング、JFEエンジニアリング国内外主要子会

社13社、JFE商事

〈カテゴリー15〉ジャパンマリンユナイテッド、JFEスチールの持分法適用会社9社(国内6社、海外3社)

※2 出典：環境省 グリーン・バリューチェーンプラットフォーム等

その他の温室効果ガスデータ

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
CO ₂ 以外の 温室効果ガス排出量	全社	千t-CO ₂ e	96.1	103.0	55.2	117.9	205.3	
	メタン(CH ₄)	ST Gr	千t-CO ₂ e	68.3	74.6	35.4	78.5	162.6
		ST	千t-CO ₂ e	68.3	74.6	35.4	78.5	162.5
		ST 子会社	千t-CO ₂ e	—	0.005	0.005	0.005	0.103
		EN 子会社 ^{※1}	千t-CO ₂ e	—	—	—	—	1.11
	N ₂ O	全社	千t-CO ₂ e	27.9	28.5	19.8	39.4	41.6
		ST Gr	千t-CO ₂ e	15.5	17.7	7.8	37.1	39.5
		ST	千t-CO ₂ e	15.5	17.7	7.8	37.1	39.5
		ST 子会社	千t-CO ₂ e	—	0.004	0.004	0.004	0.005
		EN 子会社 ^{※1}	千t-CO ₂ e	12.4	10.8	12.0	2.3	2.1
輸送時の温室効果ガス 排出量 ^{※2}	ST Gr	万t-CO ₂	57	63	61	59	58	
	ST	万t-CO ₂	34	38	37	37	36	
	ST 子会社	万t-CO ₂	23	25	24	22	22	
CO ₂ 削減貢献相当量 ^{※3}	EN Gr	万t-CO ₂ /年	965	1,057	1,114	1,153	1,200	
	バイオマス 発電	EN Gr	万t-CO ₂ /年	274	286	294	295	312
	廃棄物発電	EN Gr	万t-CO ₂ /年	337	340	372	380	360
	その他(消化ガス、 太陽光、風力、廃熱 回収、燃料転換、エ ネルギーサービス、 バイオマスサイロ、 ロジスティクス商 品等)	EN Gr	万t-CO ₂ /年	354	357	359	384	443
	リサイクル(フロン 回収、創エネ含む)	EN Gr	万t-CO ₂ /年	—	74	89	94	85

※1 J&T環境：JFEエンジニアリングの国内主要子会社

※2 集計範囲：

JFEスチールと荷主として省エネ法報告義務のある国内主要子会社9社

※3 集計範囲：

- 2020年度は、JFEエンジニアリングの国内外事業、ドイツの子会社スタンダードケッセル・バウムガルテ(SBG)を含む
- 2021年度より、JFEエンジニアリングの国内外事業、J&T環境、JFEアーバンリサイクル、ドイツの子会社スタンダードケッセル・バウムガルテ(SBG)を含む

エネルギー消費

項目		対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
エネルギー消費量・原単位	消費量	全社	PJ	592	654	627	612	567
		ST Gr	PJ	591	652	625	611	566
		ST	PJ	545	602	581	557	519
		ST 子会社	PJ	45.2	49.6	43.9	53.9	46.5
		EN Gr	PJ	1.2	1.3	1.2	1.2	1.1
		SH Gr	PJ	0.6	0.7	0.7	0.7	0.6
	原単位(粗鋼生産量)	ST	GJ/ t-steel	24.0	23.3	24.1	23.7	23.6
消費量(原油換算)	EN	kℓ	8,000	7,636	7,772	7,756	8,146	
原単位前年度比率	EN	%	91.0	95.5	107.9	94.3	85.0	
回収エネルギー	外部供給率	ST	%	38	38	37	39	40
	自社再利用率	ST	%	62	62	63	61	60

モーダルシフト化

項目		対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
輸送全体	船舶+鉄道	ST	%	58.4	58.3	59.0	57.9	58.7
	トラック	ST	%	41.6	41.7	41.0	42.1	41.3
輸送距離 500km以上	船舶+鉄道	ST	%	91.6	90.0	92.1	93.6	94.8
	トラック	ST	%	8.4	10.0	7.9	6.4	5.2

算出方法：輸送量(国内、製品、半製品、のべ数)での割合

温室効果ガス・エネルギー(補足データ)

JFEスチールグループ子会社のエネルギー起源CO₂排出量・エネルギー消費量(2024年度)

会社名	CO ₂ 排出量(単位:千t-CO ₂)	エネルギー消費量(単位:PJ)
JFEミネラル	1,630.4	12.64
JFE条鋼	510.0	8.97
JFEケミカル	236.8	3.68
JFE物流	149.9	2.22
JFE鋼板	49.1	0.70
JFEプラリソース	20.8	0.17
水島リバーメント	7.7	0.07
JFEコンテナ	9.6	0.14
J-ロジテック	7.5	0.11
ガルバテックス	4.3	0.07
JFE建材	7.0	0.08
JFE溶接鋼管	6.6	0.06
JFEテクノワイヤー	4.2	0.05
JFE精密	3.2	0.04
ケーブルシート	4.7	0.07
JFEライフ	4.8	0.05
千葉リバーメント	6.2	0.08
JFE大径鋼管	1.4	0.02
ジェコス	3.0	0.03
JFE鋼材	2.6	0.02
JFEフェライト	3.5	0.06
海外(5社)	1,113.8	14.30
合計	3,787.4	43.64

JFEエンジニアリンググループ子会社のエネルギー起源CO₂排出量・エネルギー消費量(2024年度)

会社名	CO ₂ 排出量(単位:千t-CO ₂)	エネルギー消費量(単位:PJ)
J&T環境	223.6	0.7
富士化工	1.4	0.030
北日本機械	0.6	0.012
あすか創建	0.8	0.013
JFEパイプライン	0.4	0.006
JFEテクノス	0.2	0.001
JFEプロジェクトワン	0.1	0.003
妙高グリーンエナジー	0.02	0.0003
きんぱい	0.7	0.012
J&Mスチールソリューション	0.7	0.02
合計	228.6	0.774

化学物質

大気への排出

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
SOx排出量 ^{*1}	ST Gr	百万Nm ³	3.3	3.5	3.3	3.6	3.5
	ST	百万Nm ³	3.3	3.5	3.3	3.6	3.5
	ST子会社	百万Nm ³	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04
NOx排出量 ^{*2}	ST Gr	百万Nm ³	10.4	11.4	10.2	10.1	10.0
	ST	百万Nm ³	10.3	11.2	10.1	9.9	9.8
	ST子会社	百万Nm ³	0.14	0.18	0.15	0.16	0.15

※1 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社10社

※2 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社9社

水域への排出

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
COD (化学的酸素要求量)	全社 ^{※1}	t/日	3.1	3.1	3.1	2.6	2.5
	ST	t/日	2.9	2.9	2.8	2.3	2.4
	ST子会社	t/日	0.17	0.23	0.25	0.27	0.09
	EN ^{※2}	kg/日	8.7	8.4	6.6	4.8	5.8

※1 集計範囲：総計10社 (JFEスチール、JFEスチール国内連結子会社8社、JFEエンジニアリング)

※2 年間の最大値を報告しています。

PRTR届出物質

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
PRTR 届出物質 ^{※1 ※2}	排出量	全社 ^{※3}	t	754	827	750	917	960
		ST Gr	t	596	672	609	790	881
		ST	t	341	380	366	510	471
		ST子会社	t	255	292	243	280	410
		EN Gr	t	158	155	141	126	79
		EN	t	121	116	103	64 ^{※3}	70
		EN子会社	t	36.7	39.3	37.8	25.1	9.5
	移動量	全社 ^{※4}	t	5,949	9,845	12,809	11,217	11,304
		ST Gr	t	5,910	9,811	12,779	11,193	11,279
		ST	t	1,694	1,378	1,278	1,192	1,836
		ST子会社	t	4,216	8,433	11,501	10,001	9,443
		EN Gr	t	39	34	30	23	25
		EN	t	26	30	26	19	23
		EN子会社	t	12.5	4.4	4.4	3.9	2.5
VOC排出量	ST	t	529	542	513	528	475	
ベンゼン排出量	ST	t	14	16	17	16	11	
ジクロロメタン排出量	ST	t	22	30	25	25	19	

※1 集計範囲：

- JFEスチール、国内連結子会社16社
- JFEエンジニアリング、国内連結子会社3社

※2 ダイオキシン類を除く

※3 精度向上のため、数値を遡及して修正

※4 JFE商事はPRTR届出に該当しないため、報告対象外となります

化学物質(補足データ)

JFEスチールグループ子会社のSOx・NOx排出量(2024年度)

会社名	SOx排出量(単位: Nm ³)	NOx排出量(単位: Nm ³)
JFEミネラル	13,438	76,640
千葉リバーメント	83	792
水島リバーメント	0	830
JFE精密	746	186
JFEプラリソース	0	0
JFE条鋼	8,210	15,541
JFE建材	34	2,083
JFE建材フェンス	0	0
JFE鋼板	1,227	8,055
JFEコンテナ	115	0
JFE溶接鋼管(旧JFE鋼管)	0	0
JFE大径鋼管	0	0
ガルバテックス	0	625
JFEテクノワイヤー	0	0
JFE鋼材	0	0
ジェコス	0	0
JFE物流	0	0
J-ロジテック	0	0
JFEケミカル	11,230	45,569
ケーブルシート	158	0
JFEライフ	0	0
合計	35,241	150,321

資源活用

投入資源・供給製品

項目		対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
投入資源	鉄鋼原料*	ST	百万t	56.2	63.4	60.4	56.1	52.4
	鉄鉱石*	ST	百万t	32.9	37.6	35.7	33.4	30.9
	石炭	ST	百万t	18.1	19.9	19.1	17.5	16.2
	石灰石	ST	百万t	5.2	5.9	5.6	5.2	5.3
	リサイクル原料 (鉄スクラップ)	ST	百万t	0.8	1.2	0.9	0.8	1.1
	原材料	EN	千t	36.9	38.6	27.9	24.0	35.3
供給製品	鉄鋼製品	ST	百万t	22.8	25.9	24.2	23.4	21.9
	エンジニアリング 製品	EN	千t	34.7	37.4	27.0	23.0	29.7

副産物・廃棄物

項目		対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
発生量* ¹		ST Gr	百万t	13.9	14.4	14.1	13.3	12.6
		ST* ²	百万t	13.4	13.9	13.5	12.7	12.0
		ST子会社	百万t	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6
所内リサイクル量	ST	百万t	3.3	3.3	2.9	2.9	2.7	
所内リサイクル率	ST	%	24.9	24.0	21.7	22.4	22.8	
排出量* ¹		ST Gr	百万t	10.2	10.8	10.8	10.1	9.5
		ST	百万t	10.1	10.6	10.6	9.9	9.3
		ST子会社	百万t	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
地域社会での利用量	ST	百万t	10.0	10.5	10.5	9.8	9.2	
地域社会での利用率	ST	%	74.8	75.7	77.8	77	76.6	
最終処分量* ¹		ST Gr	百万t	0.060	0.094	0.167	0.180	0.146
		ST	百万t	0.037	0.042	0.073	0.083	0.063
		ST子会社	百万t	0.023	0.052	0.094	0.097	0.083
再資源化率	ST	%	99.7	99.7	99.5	99.4	99.5	

項目		対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
廃棄物	排出量 ^{※3}	EN Gr	千t	159.1	249.2	223.7	193.1	151.4
	オフィス部門	EN	t	329.2	235.3	259.4	219.4	263.0
		横浜本社	t	256.9	156.7	195.0	157.2	203.5
		津製作所	t	72.3	78.6	64.4	62.2	52.9
		笠岡製作所	t	—	—	—	—	6.6
	生産部門	EN	t	1,072.3	803.0	821.4	705.8	1,571.7
		鶴見製作所	t	519.8	364.7	461.6	338.3	1,068.4
		津製作所	t	552.5	438.3	359.8	367.5	399.6
		笠岡製作所	t	—	—	—	—	103.7
	工事部門	EN	t	97,387.9	190,242.3	162,747.2	134,157.5	60,269.0
	子会社	EN子会社	t	60,296.7	57,960.3	59,841.4	57,990.0	89,319.6
	リサイクル率 (オフィス部門)	EN	%	96.8	96.1	96.4	92.1	93.0
		横浜本社	%	99.1	98.5	98.4	97.7	98.3
		津製作所	%	87.2	88.4	85.7	87.1	86.7
		笠岡製作所	t	—	—	—	—	0.0
	リサイクル率 (生産部門)	EN	%	48.8	46.8	54.0	50.4	53.9
		鶴見製作所	%	72.0	68.3	75.9	60.9	73.5
		津製作所	%	33.8	28.0	25.0	42.3	47.3
		笠岡製作所	t	—	—	—	—	0.0
	リサイクル率(工事部門)	EN	%	98.3	98.6	99.3	97.5	97.3
	最終処分量	EN	t	2,011.6	3,035.6	1,456.7	3,497.5	1,956.9
オフィス部門	EN	t	9.1	7.4	7.7	7.4	13.3	
	横浜本社	t	2.1	2.2	2.9	3.0	2.9	
	津製作所	t	7.0	5.2	4.8	4.4	3.8	
	笠岡製作所	t	—	—	—	—	6.6	
生産部門	EN	t	351.2	322.6	287.7	235.2	344.3	
	鶴見製作所	t	75.2	89.4	85.9	80.5	96.4	
	津製作所	t	276.0	233.2	201.8	154.7	144.2	
	笠岡製作所	t	—	—	—	—	103.7	
工事部門	EN	t	1,651.3	2,705.6	1,161.3	3,254.8	1,599.3	
再資源化率	EN	%	95.9	96.5	97.4	96.1	92.6	

※1 集計範囲：JFEスチール、国内連結子会社22社

※2 JFEスチールの副産物は、主に海城・陸上・土木用材として、再利用

※3 集計範囲：JFEエンジニアリング、国内連結子会社9社

JFEエンジニアリング(現地工事部門)の廃棄物

項目		対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
がれき	発生量	EN	t	78,100	159,309	141,888	119,708	46,853
	リサイクル率	EN	%	99.4	99.4	99.9	97.8	99.6
	最終処分量	EN	t	484	940	173	2,632	189
汚泥	発生量	EN	t	12,399	24,350	14,806	9,679	4,827
	リサイクル率	EN	%	98.9	96.9	99.0	99.3	97.1
	最終処分量	EN	t	135	683	130	56	104
がれき・汚泥を 除く産業廃棄物	発生量	EN	t	6,678	6,583	6,054	4,771	8,589
	リサイクル率	EN	%	85.4	81.6	84.4	87.1	83.9
	最終処分量	EN	t	868	1,083	858	566	1,307

JFE商事の紙消費

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
紙(コピー用紙)消費量	SH	箱	3,021	3,033	2,860	2,934	3,089
	東京	箱	1,333	1,471	1,376	1,396	1,374
	大阪	箱	310	337	351	391	679
	名古屋	箱	157	154	177	162	165
	支店	箱	1,221	1,071	956	985	871

水使用

取水・排水

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
水受入量 ^{※1}	全社	百万t	237	246	240	226	228
	ST Gr	百万t	236	245	239	224	227
	ST	百万t	215	226	220	208	210
	ST子会社	百万t	20.9	18.7	18.2	16.1	16.5
	EN Gr	百万t	1.296	1.141	1.35	1.24	1.36
	EN	百万t	0.072	0.063	0.064	0.073	0.081
	EN子会社	百万t	1.223	1.078	1.28	1.17	1.28
	SH Gr	百万t	0.160	0.154	0.154	0.145	0.143
	SH	百万t	—	—	—	—	—
	SH子会社	百万t	0.160	0.154	0.154	0.145	0.143
排水量 ^{※2}	ST Gr	百万t	141	144	143	139	137
	ST	百万t	123	128	128	125	124
	ST子会社	百万t	18.3	15.6	15.4	13.9	13.3
	EN	百万t	0.157	0.132	0.122	0.122	0.107
水総使用量 ^{※2}	ST Gr	百万t	3,331	3,442	3,475	3,242	2,974
	ST	百万t	3,066	3,207	3,242	3,035	2,748
	ST子会社	百万t	265	235	233	207	226
蒸発量	ST	百万t	92	98	92	83	76
排水・蒸発率	ST	%	7.0	7.0	6.8	6.9	7.3
循環量 ^{※2}	ST Gr	百万t	3,096	3,197	3,237	3,017	2,747
	ST	百万t	2,851	2,981	3,022	2,826	2,538
	ST子会社	百万t	245	216	215	191	209
循環率 ^{※2※3}	ST	%	93.0	93.0	93.2	93.1	92.4
	ST子会社	%	92	92	92	92	93

※1 集計範囲：

- JFEスチール、国内連結子会社22社
- JFEエンジニアリング単体、国内連結子会社6社
- JFE商事の国内外連結子会社35社

※2 集計範囲：JFEスチール、国内連結子会社22社

※3 工業用水循環率(%) = (総使用量 - 工業用水受入量) / 総使用量 × 100

取水先・排水先内訳

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総水受入量	事業会社 2社*	百万t	214.8	226.1	220.4	208.4	210.1
河川・湖		百万t	0	0	0	0	0
地下水		百万t	0	0	0	0	0
工業用水・上水道		百万t	214.8	226.1	220.4	208.4	210.1
海		百万t	0	0	0	0	0
雨水		百万t	0	0	0	0	0
その他の取水源		百万t	0	0	0	0	0
総排水量	事業会社 2社*	百万t	123.6	128.8	128.5	125.8	124.3
海洋		百万t	123.1	128.3	128.1	125.4	123.9
地表水		百万t	0	0	0	0	0
地下/井戸		百万t	0	0	0	0	0
敷地外の水処理		百万t	0.4796	0.4709	0.4300	0.4158	0.4168
有益/その他の用途		百万t	0	0	0	0	0
その他の放流先		百万t	0	0	0	0	0

※ 集計範囲：JFEスチール、JFEエンジニアリング

水使用(補足データ)

JFEスチールグループ子会社の水受入量・排出量(2024年度)

会社名	受入量(単位：千t)	排水量(単位：千t)
JFEミネラル	5,618	5,154
千葉リバーメント	13	13
水島リバーメント	11	11
JFE精密	127	127
JFEプラリソース	12	3
JFE条鋼	4,842	2,932
JFE建材	152	147
JFE建材フェンス	21	21
JFE鋼板	540	288
JFEコンテナ	108	108
JFE溶接鋼管	29	17
JFE大径鋼管	2	2
ガルバテックス	553	553
JFEテクノワイヤー	85	5
JFE鋼材	13	13

会社名	受入量(単位:千t)	排水量(単位:千t)
ジェコス	42	37
JFE物流	106	87
J-ロジテック	3	3
JFEケミカル	3,557	3,209
JFEフェライト	40	40
ケーブラシート	34	35
JFEライフ	560	462
合計	16,468	13,268

JFEエンジニアリンググループ子会社の水受入量(2024年度)

会社名	受入量(単位:千t)
J&T環境	1,277
北日本機械	0.003
富士化工	0.04
きんぱい	0.004
JFEテクノス	0.51
合計	1,277

環境マネジメント

環境マネジメントシステム

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
ISO14001認証の カバー率	拠点	全社	%	58	54	52	52	52
		ST Gr	%	21	18	44	44	44
		EN Gr	%	9	8	44	43	43
		SH Gr	%	28	27	64	64	64
	従業員	全社	%	70	68	67	72	66
		ST Gr	%	74	72	70	72	71
		EN Gr	%	51	50	50	47	48
		SH Gr	%	89	83	81	80	78
環境監査(サイト数)	ST Gr	カ所	24	29	28	27	25	
	EN Gr	カ所	28	52	50	52	53	
環境教育実績(のべ受講者数)	EN Gr	名	731	1,131	889	897	1282	

環境会計

環境保全コストの内訳		2023年度		2024年度	
		投資額 (億円)	費用額 (億円)	投資額 (億円)	費用額 (億円)
マネジメント	環境負荷の監視・測定、EMS関連、環境教育・啓発など	12	24	1	28
地球温暖化防止	省エネルギー、エネルギー有効利用など	195	365	63	360
	工業用水の循環	49	257	20	226
資源の有効活用	自社内発生物のリサイクル、廃棄物管理など	0	57	71	52
環境保全	大気汚染の防止	69	307	60	282
	水質汚濁の防止	18	115	33	149
	土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下の防止	0	5	0	5
その他	賦課金など	—	14	-	7
研究開発	環境保全(大気、水、土壌など)・省エネルギー・地球温暖化防止のための技術開発	10	94	12	179
社会活動	自然保護・緑化活動支援、情報公開、展示会、広報など	—	7	—	8
合計		352	1,244	262	1,296

集計範囲：JFEスチール、ただし研究開発のみJFEエンジニアリングを含む

環境会計(累計)

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
省エネルギー対策投資 累計額	全社	億円	5,465	5,654	5,708	5,903	5,966
環境保全投資累計額	全社	億円	7,421	7,709	7,971	8,119	8,306

社会データ

人的資本

従業員関連データ (2024年度^{*1})

項目	対象範囲	単位	JFE スチール	JFE エンジニアリング	JFE商事
従業員数	連結 ^{*2}	名	41,386	11,102	8,753
男性		名	35,981	9,485	5,233
女性		名	5,405	1,617	2,108
管理職者数 ^{*3}		名	11,151	3,807	1,850
男性		名	10,295	3,528	1,555
女性		名	856	279	295
女性管理職比率		%	7.7	7.3	15.9
従業員数	単体	名	14,624	3,756	997
男性		名	13,355	3,174	603
女性		名	1,269	582	394
課長級以上管理職者数 ^{*3}		名	1,643	1,721	609
男性		名	1,603	1,657	545
女性		名	40	64	64
女性管理職比率		%	2.4	3.7	10.5
採用者数	単体	名	745	263	72
男性		名	658	230	42
女性		名	87	33	30
定期		名	482	125	44
キャリア		名	263	138	28
勤続年数(平均)		年	17.2	15.7	13.1
男性		年	16.9	15.8	13.2
女性	年	20.2	15.3	13.0	
離職率 ^{*4} (計 2.1%)		%	1.9	2.6	4.1

項目	対象範囲	単位	JFE スチール	JFE エンジニアリング	JFE商事
高年齢者数 ^{※5}	単体	名	905	57	11
高年齢者比率 ^{※5}		%	6.2	1.5	1.1
年休取得日数(平均)		日/年	16.4	18.7	16.7
所定外労働時間(平均)		時間/月	26.4	27.1	31.4
育児短時間勤務者数		名	92	54	57
男性従業員の育児休業等取得率 ^{※6}		%	97.0	97.1	110.3
男性従業員の育児休業等取得日数(平均)		日	27.9	59.6	21.5
男女の賃金の差異 ^{※7} (全労働者)		%	82.2	67.6	69.9
正社員		%	82.6	67.8	69.8
パート・有期社員		%	75.0	59.1	60.4
派遣社員人数		名	144	639	39

※1 人員構成(管理職者数・派遣社員人数・育児短時間勤務者数を除く)は2025年3月31日時点、管理職者数・派遣社員人数・育児短時間勤務者数は2025年4月1日時点、その他は2024年度の実績

※2 集計範囲：事業会社・その連結子会社(スチール：149社、エンジニアリング：80社、商事：97社)、JFE商事の米州地域の従業員数は性別集計から除く。また、管理者数は集計範囲から除く。

※3 JFE商事の管理職者数は出向者を含む

※4 全在籍者に対する自己都合退職者の割合

※5 JFEスチールおよびJFEエンジニアリングは60歳以上の現役社員を含む(定年年齢を65歳へ引き上げているため)

※6 育児休業等と育児目的休暇の取得割合=(育児休業等をした男性労働者の数+小学校就学前の子の育児を目的とした休暇制度を利用した男性労働者の数)÷配偶者が出産した男性労働者の数

※7 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の規定に基づき算出したもの

採用^{※1,2}

項目	単位	総合職			現業職	総計
		事務系	技術系	計		
男性	名	150	311	461	469	930
女性	名	94	35	129	21	150
総計	名	244	346	590	490	1,080
女性比率	%	38.5	10.1	21.9	4.3	13.9

※1 集計範囲：事業会社3社の合計

※2 集計対象者：2025年度新卒・2024年度キャリア入社

障がい者雇用(各年6月1日時点)

項目	対象範囲	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
障がい者雇用率	JFEスチール	%	2.51	2.51	2.57	2.52	2.63
	JFEエンジニアリング	%	2.37	2.53	2.58	2.69	2.83
	JFE商事	%	2.39	2.39	2.66	2.74	2.84

人材育成

項目	対象範囲	単位	2022年度	2023年度	2024年度
一人あたり研修時間	JFEスチール	時間/年	45.2	44.9	45.2
	JFEエンジニアリング	時間/年	20.9	23.4	24.2
	JFE商事	時間/年	20.1	22.1	25.2
DX人材の育成(累計)	JFEスチール (データサイエンティスト)	名	—	610	662
	JFEスチール (市民開発)	名	—	456	630
	JFEエンジニアリング	名	—	179	207

休業災害

項目	対象範囲 ^{*1}	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
休業度数率・強度率	休業度数率 ^{*2}	JFEスチール	—	0.23	0.10	0.18	0.06	0.15
			強度率 ^{*3}	—	0.08	0.08	0.08	0.00
	休業度数率 ^{*2}	JFEエンジニア リング	—	0.35	0.56	0.26	0.28	0.22
			強度率 ^{*3}	—	0.01	0.40	0.01	0.42
	休業度数率 ^{*2}	JFE商事 グループ	—	0.76	0.60	0.25	0.12	0.37
			強度率 ^{*3}	—	0.04	0.05	0.02	0.03
	休業度数率 ^{*2}	製造業平均	—	1.21	1.31	1.25	1.29	1.30
			強度率 ^{*3}	—	0.07	0.06	0.08	0.08
休業災害件数	休業災害件数	JFEグループ	件	36	26	25	12	21
			死亡災害件数	件	1	2	1	1
	休業災害件数	JFEスチール	件	23	10	18	6	14
			死亡災害件数	件	1	1	1	0
	休業災害件数	JFEエンジニア リング	件	7	11	5	5	4
			死亡災害件数	件	0	1	0	1
	休業災害件数	JFE商事 グループ	件	6	5	2	1	3
			死亡災害件数	件	0	0	0	0

項目		対象範囲※1	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
従業員の休業災害	休業災害件数	JFEグループ	件	15	10	13	6	3
	死亡災害件数		件	0	0	1	0	0
	休業災害件数	JFEスチール	件	9	5	11	4	2
	死亡災害件数		件	0	0	1	0	0
	休業災害件数	JFEエンジニアリング	件	2	1	0	1	0
	死亡災害件数		件	0	0	0	0	0
	休業災害件数	JFE商事グループ	件	4	4	2	1	1
	死亡災害件数		件	0	0	0	0	0
請負会社従業員の休業災害	休業災害件数	JFEグループ	件	21	16	12	6	18
	死亡災害件数		件	1	2	0	1	0
	休業災害件数	JFEスチール	件	14	5	7	2	12
	死亡災害件数		件	1	1	0	0	0
	休業災害件数	JFEエンジニアリング	件	5	10	5	4	4
	死亡災害件数		件	0	1	0	1	0
	休業災害件数	JFE商事グループ	件	2	1	0	0	2
	死亡災害件数		件	0	0	0	0	0

※1 集計範囲：[スチール、エンジニアリング]国内単体(協力会社および請負会社を含む)、
[商事グループ]国内単体および国内グループ会社(協力会社および請負会社を含む)

※2 休業度数率=休業以上災害発生者数/延労働時間数×1,000,000

※3 強度率=労働損失日数/延労働時間数×1,000

安全衛生に関する研修(2024年度)

項目	単位	参加人数 [※]
管理監督者に対する研修	名	369
新入社員および階層別教育にてメンタルヘルス教育	名	1,367

※ 事業会社3社の合計

労働安全衛生

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ISO45001 認証取得事業所の割合 [※]	JFEスチール	%	33	100	100	100
	JFEエンジニアリング	%	100	100	100	67

※ 生産拠点における割合

健康

項目	対象範囲	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特定保健指導実施率 ^{※1}	JFEスチール	%	53.0	72.2	71.1	72.7	—
	JFEエンジニアリング	%	39.1	39.4	42.7	41.3	—
	JFE商事	%	41.6	52.1	35.0	43.0	—
喫煙率	JFEスチール ^{※2}	%	29.0	27.3	26.6	25.8	25.0
	JFEエンジニアリング	%	23.3	22.9	22.3	21.8	21.4
	JFE商事	%	24.9	21.5	21.9	20.6	21.4
メタボリックシンドローム率	JFE健康保険組合加入者(40歳以上)	%	36.5	36.3	36.0	36.3	36.3
被扶養者健診受診率	40歳以上	%	46.3	51.3	52.3	53.8	56.9

※1 2024年度のデータは確定次第追記予定

※2 JFEスチールの喫煙率は暦年で管理

良質な商品の提供とお客様満足度の向上

顧客に関する研修(2024年度)

研修名	対象範囲	単位	参加人数
海外グループ会社技術報告会(参加者・会社数 ^{※1})	JFE商事	名(社)	157(17)
ナショナルスタッフ研修(NS研修) ^{※2}	JFE商事	名	27

※1 計11ヶ国より参加。参加人数は対面での参加34人、オンラインでの参加123人の合計(157人)

※2 計10カ国より参加(タイ・ベトナム・インド・マレーシア・メキシコ・インドネシア・フィリピン・中国・アメリカ・オーストラリア)

コミュニティ

社会貢献活動(2024年度)

活動	対象範囲	単位	実績
インターンシップ実績	JFEグループ	名	2,080
	JFEスチール	名	953
	JFEエンジニアリング	名	749
	JFE商事	名	378
支援物資量(ガーナ、ナイジェリアの学校)	机・イス	セット	460
	ノート	冊	17,000
	缶詰	缶	12,500

JFE21世紀財団

助成	件数 (件)	助成金額 (万円)	
技術研究助成(累計)	766	153,980	
技術研究助成(2024年度)	鉄鋼技術研究	9	1,800
	地球環境・地球温暖化防止技術研究	19	3,800
アジア歴史研究助成(累計)	186	27,900	
アジア歴史研究助成(2024年度)	12	1,800	
活動	寄贈数(部)		
海外子女文芸作品コンクールへの協賛と文集の寄贈 (鉄鋼に縁のある地域の小・中学校、図書館等 [※])	2,200		

※ 寄贈先：小・中学校650校、図書館60館 等

ガバナンスデータ

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス体制関連データ(2025年7月1日時点)

項目名	体制の概要
機関設計の形態	取締役会・監査等委員会設置会社
取締役の人数(名)	13
独立社外取締役	6
女性取締役数	2
取締役(監査等委員)の人数(名)	5
独立社外取締役(監査等委員)	3
女性取締役(監査等委員)	1
取締役の任期(年)	1
取締役(監査等委員)の任期(年)	2
社外取締役の任期(年)	1
社外取締役(監査等委員)の任期(年)	2
執行役員制度の採用	有
取締役会の任意諮問委員会	指名委員会および報酬委員会

取締役(2025年7月1日時点)

役職		名前	重要な兼職	独立役員	2024年度 取締役会 出席回数	2024年度 監査役会 出席回数
取締役	社内	きたの よしひさ 北野 嘉久	公益財団法人JFE21世紀財団理事長	—	14回/14回 (100%)	—
		ひろせ まさゆき 広瀬 政之	JFEスチール株式会社代表取締役社長	—	11回/11回 (100%)	—
		てらはた まさし 寺畑 雅史	JFEスチール株式会社取締役 公益財団法人JFE21世紀財団専務理事	—	14回/14回 (100%)	—
		ふくだ かずよし 福田 一美	JFEエンジニアリング株式会社代表取締役 社長	—	11回/11回 (100%)	—
		うばがい よしふみ 祖母井 紀史	JFE商事株式会社代表取締役社長	—	—	—
	社外	あんどう よしこ 安藤 よし子	キリンホールディングス株式会社社外取締役 三精テクノロジーズ株式会社社外取締役	○	14回/14回 (100%)	—
		しまむら たくや 島村 琢哉	AGC株式会社取締役会長 株式会社荏原製作所社外取締役	○	14回/14回 (100%)	20回/20回 (100%)
		こばやし けいいち 小林 敬一	古河電気工業株式会社取締役会長 株式会社N T T データ社外取締役	○	11回/11回 (100%)	—
	監査等 委員で ある 取締役	社内	はら のぶや 原 伸哉	JFEスチール株式会社監査役	—	14回/14回 (100%)
あきもと なかば 秋本 なかば			JFEエンジニアリング株式会社監査役 JFE商事株式会社監査役	—	14回/14回 (100%)	20回/20回 (100%)
社外		ぬまがみ つよし 沼上 幹	早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究セ ンター研究院教授 東京センチュリー株式会社社外取締役 株式会社荏原製作所社外取締役	○	14回/14回 (100%)	20回/20回 (100%)
		すずき よしひさ 鈴木 善久	協和キリン株式会社社外取締役 オムロン株式会社社外取締役	○	—	—
		なかむら なおと 中村 直人	中村法律事務所弁護士	○	—	—

※ 広瀬政之氏、福田一美氏および小林敬一氏は、昨年の定時株主総会(2024年6月25日開催)において新たに取締役に選任されましたので、取締役会の開催回数が異なります。

指名委員会・報酬委員会関連データ(2025年7月1日時点)

項目	構成人数 (名)	委員長	2024年度 開催回数(回)
指名委員会	6	島村 琢哉 (社外取締役)	4
社内取締役	2		
社外取締役	2		
社外取締役(監査等委員)	2		
報酬委員会	6	小林 敬一 (社外取締役)	5
社内取締役	2		
社外取締役	2		
社外取締役(監査等委員)	2		

業務執行体制関連データ

会議体	社名	議長	出席者
グループ経営戦略会議	JFEホールディングス	社長	社内取締役(事業会社社長3名を含む)、執行役員
経営会議	JFEホールディングス	社長	社内取締役(事業会社社長3名を除く)、執行役員
	各事業会社	社長	取締役、主要な執行役員、監査役

役員報酬関連データ(2024年度)

役員報酬等の内容						
役員区分	報酬等の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額(千円) ^{※1}				対象となる 役員数 (名)
		基本報酬	賞与	株式報酬 ^{※2}		
				業績連動部分	在任期間部分	
取締役(社外取締役を除く)	283,737	244,463	25,890	0	13,384	7
監査役(社外監査役を除く) ^{※1}	78,335	78,335	—	—	—	2
社外役員	111,647	111,647	—	—	—	7

※1 取締役(社外取締役を除く)に対する業績連動報酬等として、賞与と株式報酬の業績連動部分を設けており、当事業年度に係る業績連動報酬の総額は25,890千円です

※2 取締役(社外取締役を除く)のみを対象としており、全額が非金銭報酬等であり、当事業年度に係る株式報酬として費用計上を行う非金銭報酬等の総額は13,384千円です

役員報酬等の総額が1億円以上である者の役員報酬等の総額等

氏名	役名	社名	連結報酬等の 総額(千円)	連結報酬等の 会社別の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額(千円)			
					基本報酬	賞与	株式報酬	
							業績連動 部分	在任期 間部分
北野 嘉久	取締役	JFEホールディングス	145,977	145,977	120,047	16,370	—	9,560
広瀬 政之	取締役	JFEホールディングス	129,603	9,000	9,000	—	—	—
	取締役	JFEスチール		120,603	111,043	—	—	9,560

各報酬の支給割合

基本報酬：固定報酬(%)	年次賞与：短期業績連動(%)	株式報酬：中長期業績連動(%)
2	1	1

※ 上記支給割合は、当社社長が業績目標を達成した場合の割合です

内部統制体制関連データ(2025年7月1日時点)

内部統制体制				
項目		社数(社)	設置人数(名)	
内部監査	内部監査組織	61	179	
	監査役監査	常勤監査役	30	35
		派遣監査役 (非常勤監査役)	44	12
監査役の連携				
項目		2024年度の会合回数(回)		
会計監査人		10		
内部監査部門		21		

※ 内部監査データについては2025年4月1日時点

コンプライアンス

内部通報

項目	受付窓口	単位	2023年度	2024年度
企業倫理ホットラインおよびハラスメント 相談窓口利用件数	JFEホールディングスおよび 事業会社	件	134	161
	事業会社のGr会社		201	153

独立第三者の保証報告書

SUSA

Sustainability Accounting Co.,Ltd.

独立第三者の保証報告書

2025年9月10日

JFEホールディングス株式会社

代表取締役社長（CEO） 北野 嘉久 殿

株式会社サステナビリティ会計事務所

東京都千代田区麹町 2-4

代表取締役 福島隆史

1.目的

当社は、JFEホールディングス株式会社（以下、「会社」という）からの委嘱に基づき、2024年度JFEグループの、CO₂排出量（Scope1）44.0百万t-CO₂、（Scope2）7.0百万t-CO₂、（Scope3 カテゴリー1,2,3,4,5,6,7,15計）21.9百万t-CO₂e、エネルギー消費量 567 PJ ならびに水受入量 228 百万 t、JFE スチールグループの副産物排出量 9.5 百万 t、JFE エンジニアリンググループの廃棄物排出量 0.15 百万 t（以下「環境パフォーマンス指標」という）に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、環境パフォーマンス指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。環境パフォーマンス指標は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

2.保証手続

当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。

- ・算定方針について担当者への質問
- ・算定方針の検討
- ・算定方針に従って環境パフォーマンス指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施

3.結論

当社が実施した保証手続の結果、環境パフォーマンス指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上